



発表は次のとおり実施願います。

テレビ ラジオ インターネット	11月18日(金) 17時以降
新聞	11月19日(土) 朝刊

資料提供(教育庁)

令和4年11月15日

国指定重要文化財(美術工芸品)の指定について

国の文化審議会(会長 佐藤 信)は、令和4年11月18日(金)に、新たに4件の美術工芸品を国宝に、47件の美術工芸品を国指定重要文化財に指定するように文部科学大臣に答申を行う予定です。

このうち本県関係は、下記のとおりですので、お知らせいたします。

これにより、官報告示を経て本県における重要文化財(美術工芸品)は49件(国宝2件を含む)となり、そのうち考古資料は6件、歴史資料は4件となります。

記

1 国指定重要文化財(美術工芸品)に答申予定の本県物件

種別	区分	名称	数量	所有者
美術工芸品	考古資料	茨城県風返稻荷山古墳出土品	一括	かすみがうら市 (かすみがうら市歴史博物館保管)
美術工芸品	歴史資料	五馬力誘導電動機</明治四十三年、久原鋳業所製> 附 設計図面	1台 5枚	株式会社日立製作所 (日立オリジンパーク保管)

※概要等は別紙のとおり

2 国指定重要文化財(美術工芸品のうち、考古資料と歴史資料)の件数

【考古資料】

- 全国 指定件数: 661件(国宝49件含む) うち今回答申件数: 9件(国宝1件含む)
- 本県 指定件数: 6件 うち今回答申件数: 1件

【歴史資料】

- 全国 指定件数: 234件(国宝3件含む) うち今回答申件数: 6件
- 本県 指定件数: 4件 うち今回答申件数: 1件

【本資料の詳細についての問い合わせ先】

- 五馬力誘導電動機</明治四十三年、久原鋳業所製>

教育庁総務企画部文化課有形・無形文化財担当 豊田 電話 029-301-5449
日立市郷土博物館 黒澤 電話 0294-23-3231

- 茨城県風返稻荷山古墳出土品

教育庁総務企画部文化課有形・無形文化財担当 豊田 電話 029-301-5449
かすみがうら市教育委員会生涯学習課 千葉 電話 029-896-0017

【写真についての問い合わせ先】

文化庁文化財第一課 審議会係 (直通) 03-6734-4908

文化庁報道発表資料より抜粋

③茨城県風 返稻荷山古墳出土品

一括

【所有者】かすみがうら市（茨城県かすみがうら市上土田 461）
かすみがうら市歴史博物館保管

霞ヶ浦沿岸に築かれた古墳時代後期末（6世紀末から7世紀初頭頃）の前方後円墳からの出土品、全53点で構成される一括。

2基の埋葬施設やその傍から出土した豊富な副葬品群で、銅鏡や金・銀で装飾された武器・馬具などが特徴的。特に銅鏡は小型で蓋、承台を伴い、姿形も優美である。独特な形状で希少な棘葉形杏葉を含む2組の馬具は、遺存状態が極めて良好で、当時の輝きを現代に伝える。また、金銀装の頭椎大刀や金銅装の円頭大刀など、数量豊富な装飾付大刀を有する。これらは、最末期の前方後円墳における副葬品の組み合わせを示す好例であり、この時代における金工品の種類や製作技術、変遷をみるうえでも重要である。（古墳時代・6～7世紀）



文化庁報道発表資料より抜粋

②こばりきゆうどうでんどうき五馬力誘導電動機 くはらこうぎょうしよせい〈／明治四十三年、久原鉱業所製〉 1台

附 設計図面 5枚

【所有者】株式会社日立製作所（東京都千代田区丸の内1-6-6）

日立オリジンパーク保管

【法 量】全高45・0cm（約17・4インチ）

明治43年（1910）にくはらこうぎょうしよひたちこうざん久原鉱業所日立鉱山工作課長おだいらなみへい小平浪平（1874～1951）の指導のもとで製造された誘導電動機である。当時国内の鉱山では多くの外国製電気機械が使用されていたが、日立鉱山工作課（後のひたちせいさくしよ日立製作所）では国産の電気機械製作を企図し、本機を端緒として鉱山用に留まらない電気機械一般の製造を事業化するに至った。

本機は日本人により設計製造された誘導電動機としては現存最古で、電気機械国産化の礎を築いた機械として産業技術史上に学術的価値が高い。本機と同時期に作成され、本機の構造などを明らかにする設計図面類もともに保存されており、附としてあわせて保護を図る。（明治時代・明治43年）

